

2016年10月11日

SUPER GT 第7戦 GT500、GT300 の両クラスで ADVAN レーシングタイヤ装着車がポール・トゥ・ウィン

横浜ゴム（株）の ADVAN レーシングタイヤ装着車が10月8日から9日にタイのチャーン・インターナショナル・サーキットで開催された SUPER GT 第7戦の GT500、GT300 両クラスでポール・トゥ・ウィンを達成した。GT500 クラスで優勝したのは RACING PROJECT BANDO H（監督：坂東正敬氏）の「WedsSport ADVAN RC F（ドライバー：関口雄飛選手／国本雄資選手）」で、ヨコハマタイヤ装着車は第4戦（スポーツランド SUGO）に続く GT500 クラス勝利となった。GT300 クラスでは VivaC team TSUCHIYA（監督：土屋春雄氏）の「VivaC 86 MC（ドライバー：土屋武士選手／松井孝允選手）」がタイヤ無交換作戦で優勝を果たした。

ポールポジションスタートとなった GT500 の「WedsSport ADVAN RC F」は、スタートドライバーの関口雄飛選手が安定的かつ攻めの走りでトップを独走し、30 周目には後続との差を 10 秒に広げて、国本雄資選手にバトンを渡す。暫定 6 番手スタートとなった国本雄資選手は 38 周目に 1 位に復帰し、40 周目には 2 位との差を約 13 秒に広げ独走態勢。終盤には後続車の猛追をうけるが、3 秒差でチェッカーフラッグを受けた。

同じくポールポジションスタートとなった GT300 の「VivaC 86 MC」は、ファーストドライバーの土屋武士選手がスタート直後にトップを奪われるが、無理のない走りで 30 周目に 2 位でピットイン。タイヤ無交換でバトンを受け取った松井孝允選手は全車がピットインを終えた時点でトップに返り咲き、終盤に後続車の急接近を許すも 1.1 秒の僅差で逃げ切り優勝した。なお、同クラスは 2 位もヨコハマタイヤ装着車が獲得し、ヨコハマタイヤ勢がワンツーフィニッシュを達成した。



GT500 クラスで優勝した「WedsSport ADVAN RC F」（左）と
GT300 クラスで優勝した「VivaC 86 MC」

GT500、GT300 クラスの優勝選手。
左から関口雄飛選手と国本雄資選手、
松井孝允選手と土屋武士選手

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：赤池
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570